

第194回定例研究会

1月16日(木)

於: 国労会館および Zoom

要求実現の力をもった労働組合をめざす —JMITUの産業別統一闘争—

報告: 三木 陵一 氏 (JMITU中央執行委員長)

JMITUの自己紹介

- ・名称: 日本金属製造情報通信労働組合
- ・金属を中心に製造業、情報通信産業ではたらく労働者で組織する個人加盟の全国組織
- ・組合員数: 約5000人

1 JMITUは春闘をどうたかっているか

- ・統一要求・統一交渉・統一ストライキを徹底
- ・回答指定日の徹底: 初回答がバラバラだと春闘全体の統一行動が崩れる。

事前申し入れ行動: 1月下旬~2月上旬

回答確約行動: 統一要求日から統一回答指定日のあいだ

第一次統一ストライキの位置づけ: 回答指定日も要求。回答延期にもストライキで抗議

- ・統一ストライキ
- ①いつでもストライキに決起できる支部の団結をめざす。
- ②統一ストライキでたたかう。とりわけ、回答指定日翌日の統一ストライキを重視。
- ③リレーストライキ: 各支部のスト時刻をずらし、大型激励団で職場をまわる。

- ・産別団交
- ①各支部分会の団体交渉に地方本部の役員や臨時大会で選出した統一交渉委員が参加
- ②産別団交の効能

○企業外から参加することで労使対等な交渉に近づける。

○使用者にJMITUという産業別労働組合を意識させる。

○産別の方針で団交をすすめられる。産別の政策力の発揮。

○参加する交渉員の学習の場となる。

- ・少数分裂組合でのたたかい: 地域からの支援と激励で別組合の安易な妥結を許さない。
- ・産別方針を全支部・全組合員に徹底する

- ① 春闘パンフの全員読み合わせ
- ② 春闘討論集会
- ③ 必要に応じて「春闘達示」で方針を徹底
- ④ 職場オルグ

2 秋闘 JMITU独自の統一闘争

- ・JMITUの年間闘争
春闘と秋闘を年間闘争の二本柱に位置づけ、夏季闘争と年末闘争を加えた四大闘争
- ・秋闘の要求

①労働時間短縮をはじめとする賃金以外の労働条件

②安全衛生(統一要求書)

③事前協議・同意約款協定など労使関係の要求、職場政策

④職場の総ざらい要求

- ・秋闘の位置づけ、意義

①賃上げを中心にした春闘に対し、秋闘では賃金以外の労働条件や権利要求を独自に追求。

②職場の総ざらい要求等を統一闘争として取り組むことで、組織強化につながる。

③年末闘争とあわせて、春闘の前哨戦。くらしをまもる経営者の責任の追求。

④情勢にみあった要求を統一闘争として取り組む

○企業分析、職場政策要求

○偽装請負

○定年後継続雇用者の要求

○奨学金返還支援制度

3 倒産・リストラ・組織攻撃とのたたかい

・倒産、リストラ、組織攻撃とのたたかいは産業別労働組合として力を集中してたたかう—JMITUの重要な結集軸

・争議支援は、団結の力を学ぶ「労働組合の学校」

4 組織の強化・拡大、職場活動・職場闘争の強化自由記述

・ストライキを軸にさまざまな大衆行動を展開
腕章・ワッペン着用/組合旗掲揚/時間外・出張拒否/団交待機/職場ビラ/シュプレヒコール/昼休み・就業後集会 等々

①「強い労働組合」は、支部分会まかせでは前進しない。

②組織の強化・拡大を目的とした産別対策会議

③「職場の外に出る取り組み」

*連絡先: 〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>